

①天皇の活動をどう評価するか

○朝日新聞2016年9月13日朝刊4面(調査最終日9月11日)

(問)天皇が行う公のつとめには、憲法に定められた衆議院の解散など「国事行為」のほかに、各種行事の出席や被災地へのお見舞いなど「公的行為」もあります。こうした公的行為は、天皇が象徴としての役割を果たすため、どの程度重要だと思いますか。

大いに重要だ	31%	あまり重要ではない	9%
ある程度重要だ	56%	まったく重要ではない	3%

○東京新聞2016年11月20日朝刊4面(日本世論調査会(共同通信社と、その加盟社のうちの38社で構成)による調査)(調査最終日11月6日)

(問)今の天皇陛下は次のような活動をされています。あなたはどれが重要だと思いますか。二つまでお答えください。

法律の公布など国事行為	25.3%
植樹祭など行事出席や地方訪問	15.7%
被災地のお見舞い	41.4%
福祉施設や高齢者施設への訪問	18.0%
外国訪問や国賓の接待など国際親善	55.8%
戦没者に対する慰霊	14.9%
宮中祭祀(さいし)	13.2%
その他	0.3%
分からない・無回答	2.7%

(問)「退位できるようにした方がよい」と答えた人(89.3%)に聞くその理由は何ですか。

天皇の意向を尊重するべきだから	49.9%
天皇が高齢化すると、象徴としての務めに支障が出るから	45.1%
明治時代以前は生前退位の例があるから	1.4%
外国には生前退位ができる制度があるから	2.8%
その他	0.3%
分からない・無回答	0.5%

(問)天皇陛下は8月、生前退位の意向をにじませたビデオメッセージの中で「人々の思いに寄り添うことも大切なことと考えてきました」としています。あなたは被災地訪問など国民に寄り添う活動と天皇の地位との関係についてどう思いますか。

活動を行うのが困難になれば退位した方がよい	77.7%
活動を行うのが困難になっても退位しなくてもよい	19.0%
分からない・無回答	3.3%